

【活用問題】

「水よう液の性質」	()組 ()番	氏名
-----------	--------------	----

まおさんはリトマス紙の色の変化によって、水よう液を酸性・中性・アルカリ性の3つに仲間分けすることに興味をもち、中学生のお兄さんと話をしました。 お兄さん

まおさん



リトマス紙と同じように、ムラサキキャベツの葉のしるやムラサキイモの粉、アサガオの花のしるでも同じように色の変化をみることができるよ。



おもしろそうだね。ムラサキイモの粉は、スーパーで手に入るから、これを使って、いろいろな水よう液の性質を調べてみよう。

そこで、ムラサキイモの粉をお湯にとかし、十分冷めてから、上ずみ液をうつし取りました。この上ずみ液を調べたい水よう液に加え、色の変化を調べる実験を行いました。

【実験1】

うすい塩酸、うすい水酸化ナトリウム水よう液、食塩水の中に、上ずみ液を入れたところ、下の結果1のようになりました。

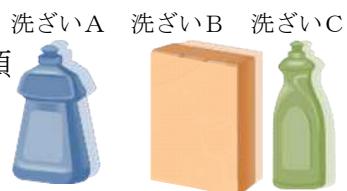
【結果1】



水よう液	うすい塩酸	うすい水酸化ナトリウム水よう液	食塩水
変化した色	赤 色	緑 色	青 色

【実験2】

酸性・中性・アルカリ性の性質が分からぬ3種類の洗ざいA～Cを水にとかし、実験1と同じように上ずみ液を入れたところ、下の結果2のようになりました。



【結果2】

水よう液	洗ざいA	洗ざいB	洗ざいC
変化した色	緑 色	青 色	赤 色

- (1) 洗ざいAを水にとかした水よう液をリトマス紙につけると、リトマス紙の色はどういうに変化するでしょうか。赤色のリトマス紙と青色のリトマス紙のそれについて、色の変化を書きましょう。

赤色のリトマス紙の色の変化	
青色のリトマス紙の色の変化	

- (2) 洗ざいCはトイレをきれいにするときによく使う洗ざいです。この洗ざいの表示にはそのまま使ったり、水でうすめて使ったりするように書いてありました。また、成分として塩酸が入っていました。

まおさんがお手伝いでトイレの中をきれいにしようとした時に、お兄さんが洗ざいCを使わないように注意をしたところが1か所あります。それは下のア～ウのどの場所ですか。その記号とそのように考えた理由を説明してみましょう。

【まおさんがトイレの中できれいにしようとした場所】

- ア とうきでできた便器の中
- イ タイルのゆか
- ウ アルミニウムでできたまどの枠

洗ざいCを使わない ように注意した場所	
理 由	

- (3) まおさんは、台所で鉄のなべやフライパンをあらう時に使う洗ざいとして洗ざいBがよいと考えました。まおさんがそのように考えた理由を説明してみましょう。

まおさんは、ムラサキイモの粉が残ったので、パンケーキを焼こうと思いました。



- (4) ムラサキイモの粉と小麦粉、水、さとうを混ぜたところで、風味を出そうと思い、レモンのしるを入れたところ、生地が赤い色になりました。このことから、レモンのしるには、どのような性質があると考えられるか、説明してみましょう。